

子宮頸部扁平上皮癌 Ia2 期の患者様を対象とする

研究に対するご協力をお願い

研究責任者	所属 <u>産婦人科</u>	職名 <u>講師</u>
	氏名 <u>田中 京子</u>	
	連絡先電話番号 <u>03-5363-3819</u>	
実施責任者	所属 <u>産婦人科</u>	職名 <u>助教</u>
	氏名 <u>岩田 卓</u>	
	連絡先電話番号 <u>03-5363-3819</u>	

このたび当院では、上記のご病気で入院・通院されていた患者さんの診療情報を用いた下記の研究を実施いたしますので、ご協力をお願いいたします。この研究を実施することによる患者さんへの新たな負担は一切ありません。また患者さんのプライバシー保護については最善を尽くします。本研究への協力を望まれない患者さんは、その旨、産婦人科 岩田卓（電話 03-5363-3819）までご連絡をお願いします。

1 対象となる方

2000 年から 2011 年に慶應義塾大学病院産婦人科において蒸散術を受けられた子宮頸部上皮内病変（異形成）の皆様を対象とします。

2 研究課題名

子宮頸部扁平上皮癌 Ia2 期における縮小手術の可能性を検討するための観察研究

3 研究実施機関

慶應義塾大学医学部産婦人科学教室

なお、当研究は婦人科悪性腫瘍研究機構（JGOG）が実施する多施設共同研究です。

4 本研究の意義、目的、方法

臨床進行期が Ia2 の子宮頸部扁平上皮癌には、標準治療として広汎子宮全摘出術が行われています。この手術の副作用として、排尿障害が下肢のむくみがありますが、一方で再発率は極めて低く 1% 以下と考えられます。本研究では、Ia2 の子宮頸部扁平上皮癌の患者さんの予後を病変の広がりや組織検査の結果などと検討することによって、より副作用の少ない縮小手術が可能かを検討することを目的としています。Ia2 の患者さんは極めて少数なため、全国の施設から症例を集めて検討する必要があります。このため、**四国がんセンター婦人科**に検体や情報を集約して解析を行います。

5 協力をお願いする内容

・組織免疫染色用の手術検体標本を四国がんセンターに送付し、解析します。なお送付する検体や情報は匿名化し、個人が特定されることはありません。

・診療録の情報（年齢・組織型・進行期・予後など）を提供し解析します。

研究事務局: 〒791-0280 愛媛県松山市南梅本町甲 160

四国がんセンター婦人科 松元隆

6 本研究の実施期間

2013年6月20日から2014年6月30日（予定）

7 プライバシーの保護について

- 1) 本研究で取り扱う患者さんの個人情報、氏名と患者番号のみです。その他の個人情報（住所、電話番号など）は一切取り扱いません。
- 2) 本研究で取り扱う患者さんの診療情報は、個人情報をすべて削除し、第三者にはどなたのものかわからないデータ（匿名化データ）として使用します。
- 3) 患者さんの個人情報と匿名化データを結びつける情報（連結情報）は、本研究の個人情報管理者が研究終了まで厳重に管理し、研究の実施に必要な場合のみに参照します。また、研究終了時に完全に抹消します。
- 4) なお連結情報は当院内のみで管理し、他の共同研究機関等には一切公開いたしません。

8 お問い合わせ

本研究に関する質問や確認のご依頼は、下記へご連絡下さい。

慶應義塾大学医学部 産婦人科学教室 岩田 卓

電話 03-5363-3819

以上